



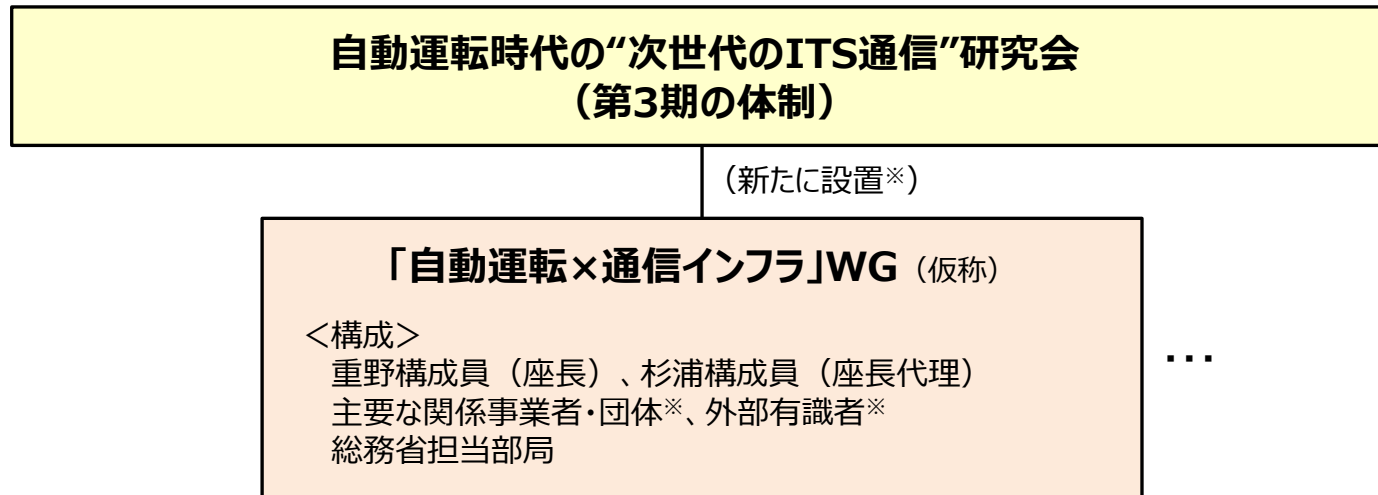
第3期報告書を踏まえた今後の対応について

令和8年6月23日
事務局

第3期報告書を踏まえた今後の対応について

- 本研究会が提言した第3期報告書の内容が、**着実に実行に移され、関係者の取組が一層推進**されていくことが重要。
- このため、**総務省**においては、同報告書を踏まえ、**我が国の自動運転社会を支える通信インフラの強化や技術・サービスの実装・展開に向けて当面特に重要となる戦略（アクションプラン）を早期に策定し、これを強力に推進していくことが重要。**
- 加えて、**本研究会**としては、同報告書の提言（「自動運転×通信」の重要テーマにフォーカスした「対話の場」等の設定）も踏まえ、**当面重要となるテーマに応じ、主要な関係者で構成されるWGを新たに設置し、通信インフラの整備の在り方や事業モデル・エコシステム構築に関する論点を中心とした検討体制を構築。**
- **同WGの体制等については、下記を基本に、総務省において関係者とも相談の上で検討・具体化。**
- 今後当面の間は、第3期報告書に基づく関係者の取組のフォローアップも含め、**WGが中心となって必要な情報共有や意見交換等を進め、その検討・具体化の状況に応じ、節目のタイミングにて、本研究会（第3期の体制）への報告も実施。**

<本研究会における今後の検討体制>



※事業・ビジネス、利用ニーズ、公共、新技術等、重要かつ幅広い視点から、
テーマに応じたWGの設置や構成員の選定を実施

※WGでは、扱うテーマに応じて非公開運営とすることも想定